

第1回銀座通り景観整備検討委員会

日時 平成29年2月2日（木）10:00～

場所 銀座フェニックスプラザ3F会議室

【出席者】（敬称略）

〔委員〕

- | | |
|---------------------------|------------|
| ・工学院大学 | 倉田 直道（委員長） |
| ・芝浦工業大学 システム理工学部 環境システム学科 | 中野 恒明 |
| ・慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 | 小林 博人 |
| ・千葉大学大学院 園芸学研究科 | 池邊 このみ |
| ・東京都 建設局 道路管理部 | 伊佐 賢一 |
| ・中央区 環境土木部 | 望月 秀彦 |
| ・一般社団法人 銀座通連合会 | 谷澤 信一 |
| ・国土交通省 東京国道事務所 | 西川 昌宏 |

【議事要旨】

1) 目的・コンセプトについて

- 「緑陰と憩いの場所づくり。美しい景観づくり」というコンセプトは適切である。
- 安全・安心である日本らしさ、伝統にとらわれない最先端の街など銀座ならではの景観の中で世界にアピールしていくことが大切である。

2) 高木について

- 樹種を「カツラ」とすることについて了承。
但し、カツラの特性から植栽基盤に以下の配慮が必要である。
 - ・良好な排水層の確保
 - ・保水性、透水性、養分の持続性に優れた客土が必要（土壌入れ替え）
 - ・踏圧による土壌の固結防止（ツリーサークルの設置等）
 - ・通気性を確保するため酸素管の設置 等
- 具体的な配置は、地下埋設物、地上占用物件、建築限界、店舗、照明柱などを考慮しながら今後検討する。
- 植栽樹のツリーサークルは、デザインと機能性を兼ね備えたものが必要である。

3) ストリートファニチャーについて

- プランター・ベンチについて、憩いは必要だが憩いを強く出し過ぎると、利用者のマナーによっては風格や格調を損なうことがある。
このようなことがないように配慮しながら、具体的な配置について検討が必要である。
- ベンチについて、固定式だけではなく、可動式についても検討していく。

4) 維持管理について

- 地元が愛護者として中心となり、道路管理者と連携し景観を維持管理していくことが大切である。
- 整備後2年でオリンピック・パラリンピックを迎えることから、2年で美しい樹形に整えるための剪定が重要である。
- 地元と道路管理者が連携した管理を進めていく上では、景観を維持するためにガイドラインを作成していく。

5) その他

- 次回委員会は3月下旬を目標とする。